学校番号	306

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「言語文化」（数研出版）						
副教材等	「読解をたいせつにする体系古典文法　十訂版」（東京書籍） 「読解をたいせつにする体系古典文法学習ノート 五訂版」（東京書籍） 「みるみる覚える古文単語 300＋30　三訂版」（いいずな書店） 「必携 新明説漢文」「必携 新明説漢文シリーズ 基本練習ノート」（尚文出版） 「新訂総合国語便覧」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古代から近現代にいたるまで日本語がどのように変化してきたのか、また、それに付随して人々の生活や文化はどのように変わってきたのかを一緒に学んでいきましょう。
・古文や漢文の多くの古典作品に親しみ、古人の思いや考えを理解しましょう。
・予習として本文を読み、わからない語句は辞書で調べて授業に臨んでください。また、その日のうちに授業内容を復習しておくようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	説話 ［教材］ 児のそら寝（宇治拾遺物語）	a：歴史的仮名遣いを理解したうえで、本文を正しく音読している。 b[読]：傍訳と脚注を参照しながら、僧たちの一連の行動、児の心理の推移などの内容を理解している。 c：現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	授業への参加 ワークシート
	説話 ［教材］ 絵仏師良秀 （宇治拾遺物語）	a：言葉のまとまりを的確に押さえて、歴史的仮名遣いに注意しながら正しく音読している。 b[読]：脚注を参照しながら、登場人物の行動と話の展開を理解している。 c：現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	授業への参加 ワークシート
	随筆 ［教材］ 丹波に出雲といふ所あり （徒然草）	a：古典の世界に親しむため、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：上人の失敗の原因に結びつく記述を本文から粘り強く探し出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	授業への参加 ワークシート
	歌物語 ［教材］ 東下り（伊勢物語）	a：古典の世界に親しむため、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：粘り強く第一段落と第二段落の関係性を見極め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	授業への参加 ワークシート
2	物語 ［教材］ なよ竹のかぐや姫（竹取物語）	a：古典の世界に親しむため、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：平安時代の成人の儀式について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	授業への参加 ワークシート
	物語 ［教材］ 天人の迎へ（竹取物語）	a：古典の世界に親しむため、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：『竹取物語』の教科書掲出箇所以外についても積極的に調べ、学習課題に沿って発表に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	授業への参加 ワークシート

	故事 ［教材］ 漁父之利(戦国策)	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	授業への参加 ワークシート
	漢詩 ［教材］ 涼州詞・送元二使安西・登高	a:各詩の詩形・押韻・対句表現を正確に理解している。 b[読]:漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。 c:押韻・対句、語句の意味について漢和辞典を活用して調べている。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	授業への参加 ワークシート
3	軍記物語 ［教材］ 木曽の最期(平家物語)	a:古典の世界に親しむため、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	発言内容 ワークシート
	詩歌 ［教材］ I was born 短歌	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、その文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 b[書]:自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、表現したいことを明確にしている。 c:学習課題に沿って、積極的に鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	行動の観察及び記述の内容 定期考査	発言内容 ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間